



報道関係者各位

平成 25 年 2 月 27 日
青森県立保健大学

野田村活動レポート

野田村支援活動に関する最新情報

I. 日本看護系大学協議会災害支援金助成事業

日本看護系大学協議会災害支援金助成を受け、岩手県野田村、青森市で支援活動を行います。

(1) 野田村スプリングスクール

放射能に関する講演会（講師未定）やサークル発表を行う他、昔遊び伝承、栄養教室、学習サポートを行います。

3月29日（金） 昔遊び、栄養教室（場所：野田村中学校仮設住宅集会所）

3月30日（土） 講演会、栄養教室（場所：野田村総合センター）

3月31日（日） サークル発表、栄養教室（場所：野田村総合センター）

※ 三味線サークル、吹奏楽サークルを予定

※ いずれも 10:00~15:00 くらいを予定しています。

※ 野田村社会福祉協議会、教育委員会が協力予定。

(2) 青森市への避難者支援

青森市役所協力の上、つながろう会（避難者ネットワーク）を本学で開催します。英語教材の配布を行う他、地域の方を講師としたカントリードール教室を予定しています。また、ここカレッジに招待し、子育てに不安を抱える避難者をサポートします。

日時：平成 25 年 3 月 21 日（木） ※ 開催時刻については調整中

場所：青森県立保健大学 教育研究C棟2階 N講義室1

II. もち小麦の地域活性化栽培実証試験

青森県立保健大学では、新食材もち小麦の食品機能性について研究をすすめており、また平成 21 年、青森県において、もち小麦商品開発研究会を立ち上げ、付加価値のある食材を用いた地域振興を図っているところです。

もち小麦は岩手県にある東北農業研究センターで創出した小麦でもあり、本学のボランティア活動による地域貢献に加え、野田村の地域活性化に寄与すべく、これまで蓄積した研究成果、また生産から加工までのノウハウを野田村での 6 次産業化に活かす計画を立てました。

野田村村長の理解のもと、役場産業振興課、岩手県農業改良普及員とともに、昨年 11 月から栽培実証試験を開始しました。もち小麦は雪ぐされ病に弱いのですが、野田村の 12-1 月は暖流の影響で北東北にしては比較的温暖で、雪が少なく、今のところ順調に生育しています。



問い合わせ*****

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-4085 FAX:017-765-2021

担当：(助成事業) 地域連携・国際センター長 中村 由美子

(実証実験) 栄養学科 教授 藤田 修三
